

第 5 回シンポジウム 「気候変動と企業経営」



日時：2008 年 7 月 3 日(木) 午後 1 時から午後 6 時まで 場所：甲南大学 甲友会館

地球温暖化への対策が喫緊の課題となるなか、気候変動がもたらす企業経営への影響を的確に把握し、地球温暖化を防止・緩和する対策を事業活動に取り入れる取り組みが求められています。シンポジウムの全体テーマとして「気候変動と企業経営ーカーボン・マネジメントと地球環境問題への貢献ー」を設定し、地球温暖化対策に関するディスクロージャーを促進する観点から、大学研究者および公認会計士による講演ならびに討議を行うものです。

地球温暖化対策の事業活動への融合を促進するためには、その取り組みを社会に広く公開し、企業経営それ自体の意識を高めると同時に、取り組みを実効性あるものに発展させていく必要があります。ディスクロージャーは、ステークホルダーの関心が高いだけに、実効性ある地球温暖化対策を自主的に促進するための切り札の一つと言っても過言でないでしょう。

そこで、本シンポジウムでは、CO₂排出削減に代表される脱カーボン資源社会への移行にともなって重要性を増している、カーボン・マネジメントの一環としてのサプライチェーン・マネジメントの観点を含めた企業経営のあり方に関する基調講演にもとづき、気候変動リスク対応とCO₂排出量に関する開示、排出量取引の経営課題、CSR 報告のKPI (Key Performance Indicators)、およびこれらの情報の信頼性の保証のあり方の 4 側面を討議しました。

<プログラム>

- 13:00-13:05 開会挨拶(中田善啓 BI 研究所長、経営学部教授)
- 13:05-13:10 学長挨拶(高阪薫学長)
- 13:10-13:15 プログラム説明(内藤文雄運営委員、経営学部教授)
- 13:15-13:45 基調講演:上妻義直氏(上智大学教授)「気候変動と企業経営」
- 13:45-14:15 パネル報告(1) 「気候変動リスクと温室効果ガス排出量に関する情報の開示」
水口剛氏(日本公認会計士協会経営研究調査会環境会計専門部会長)
- 14:15-14:45 パネル報告(2) 「排出量取引制度とその実態」
魚住隆太氏(日本公認会計士協会経営研究調査会排出量取引等専門部会長)
- 15:00-15:30 パネル報告(3) 「CSR 情報と KPI」
竹村純也氏(日本公認会計士協会経営研究調査会 CSR 情報専門部会長)
- 15:30-16:00 パネル報告(4) 「CSR 情報の信頼性の保証をめぐる国内外の実態」
沢味健司氏(日本公認会計士協会経営研究調査会 CSR 保証専門部会長)
- 16:15-17:55 パネル討議 「気候変動がもたらす企業経営への影響とビジネス・イノベーション」
コーディネータ 内藤文雄 パネラー 上妻義直氏、水口剛氏、魚住隆太氏、竹村純也氏、沢村健司氏
- 17:55-18:00 閉会挨拶(長坂悦敬運営委員、経営学部長・教授)
- 18:15-20:00 懇談会

第 4 回シンポジウム 「IT 革命と地域活性化」

日時 2007 年 5 月 26 日(土)9:30～12:10 場所 甲南大学

プログラム

開題 中田善啓氏(甲南大学ビジネス・イノベーション研究所所長)

「IT 革命の下における都市再生とクラスター戦略ー空間経済学の視点からー」

藤田昌久氏(甲南大学特別客員教授京都大学経済研究所教授)

「金融改革と流通」 西村清彦氏(日本銀行政策委員会審議委員)

「百貨店と街作り」 奥田務氏(株式会社大丸会長兼 CEO)

司会・コーディネーター 成生達彦氏(京都大学大学院教授)

(日本商業学会及び甲南大学ビジネス・イノベーション研究所共催で開催しました。)

第3回シンポジウム 「ビジネス・プロセス革新－企業持続的発展の源泉を探る－」

本シンポジウムでは、まず、基調講演にて、ビジネス・プロセス・マネジメントのフレームワークおよびビジネス・プロセス革新の最新事例を学び、パネルディスカッションでは、パネラーだけでなくフロア参加者とともに、エクセレントモデルの抽出を試みるとともに今後のビジネス・プロセス革新にあり方を探りました。

企業が持続的に発展し続けるためには、IT革新、Global競争、顧客パワー増大というような外部環境変化に対応し、ビジネス・プロセスはタイミングよく柔軟に、しかし、迅速に改革される必要がある。そのプロセス改革時には、製品特性、権限委譲、企業文化というような内部環境変化も影響を与えながら、最も適した管理システムの導入が進む。その管理システムとして、企業内外におけるプロセス相互間の連携とコア・プロセスの強化を目的とするプロセス・マネジメント（Process Based Management）が注目されています。

開催日時：2006年7月8日（土） 13:30～17:20

開催場所：甲南大学 甲友会館 大ホール

13:30 学長挨拶 杉村芳美

13:45 所長挨拶 中田善啓

13:50 基調講演 「価値創造とビジネス・プロセス・マネジメント」 新潟大学経済学部教授 李 健泳氏

事例報告

14:45 「ロジスティクス改革によるビジネス・プロセス革新事例」

佐川急便（株） サプライチェーンロジスティクス事業部 チーフコンサルタント 浜崎 章洋氏

15:15 「安全と環境」 (株) 堀場製作所 新事業統括センター 石倉理有氏

15:45 「デザイン・プロセス・マネジメント革新への試み」 (株) 竹中工務店 設計部 副部長 清水弘之氏

16:15 「交通コミュニティカードによる地域活性化の事例」 神戸カード協議会 西田純二氏

16:40-17:20 パネルディスカッション「ビジネス・プロセス革新の実現に向けて」

コーディネーター 甲南大学経営学部教授 長坂悦敬

パネラー 李 健泳氏、浜崎章洋氏、石倉理有氏、清水弘之氏、西田純二氏

第2回シンポジウム「日中経済連携と日本企業の対応について」

当研究所は関西に位置しており、関西の対外経済交流において中国は最大の割合を占めています。日中経済連携と日本企業の対応について検討する場合、現地における中国側政策制定関係者の意見や、実際に現地で経営している日系企業の経営者、それらの経営を補佐している専門家の意見に耳を傾けることが重要です。

開催日時：2005年9月5日

中国・北京にて下記の内容による第2回シンポジウムを開催しました。

●松下電工（株）海外事業統括担当常務取締役 田中弘司氏（前 中国駐在 松下電工中国統括会社総裁・総代表）



「我が社中国現地法人グループの戦略と事業再編について」

●清華大学 企業管理学院 副教授 石永恒氏「(中国の識者がみる) 日系企業の中国現地経営について」

●中倫金通運律師事務所 中国涉外弁護士 吳鵬氏「日中ビジネス、トラブルの現状と対応について」

●司会・コーディネーター：

甲南大学 経営学部 教授 杉田俊明

甲南大学 ビジネス・イノベーション研究所 兼任研究員、中国 中山大学 企業管理研究所 特約教授

第1回シンポジウム (BI 研究所オープンセレモニー) 「企業家精神の発揮－伝統的ファミリー企業を中心に－」

日時：2005年7月9日（土） 場所：甲南大学甲友会館

13:00 開場

14:00 学長挨拶

14:10 所長挨拶

14:20 シンポジウム基調講演

「阪神地域の活性化と伝統的企業の役割」 堺屋 太一氏 早稲田大学学督、元経済企画庁長官

15:20 パネルディスカッション 「伝統的企業と地域活性化・イノベーション」

〈パネリスト〉

市村 次夫氏 (株)小布施堂、(株)枅一市村酒造取締役社長

辰馬 章夫氏 辰馬本家酒造(株)取締役社長、西宮商工会議所会頭

倉科 敏材氏 甲南大学経営学部教授

〈コーディネーター〉

川島 譲氏 (株)ティーイーエヌ代表取締役社長

元(株)プレジデント社代表取締役

16:50 古我知史氏 FBN 日本理事長 挨拶

〈総合司会〉 倉科 敏材 甲南大学経営学部特任教授

ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員



特別研究会 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所とハンバット大学インキュベーションセンターの学術交流に関する協定書の締結 「グローバル・ビジネス・フォーラム」の開催

開催日時： 2010年3月19日 午後1時から午後3時30分まで

開催場所： 韓国ハンバット大学

3月19日に韓国ハンバット大学で甲南大学ビジネス・イノベーション研究所とハンバット大学インキュベーションセンターの間で、学術交流についての協定書が締結された。ハンバット大学学長 Sul Dogho 氏、ハンバット大学経営学部長 Eug Kyu Kim 氏他ハンバット大学教員と甲南大学経営学部長長坂悦敬氏、甲南大学教授西村順二氏の立ち会いの下、甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長中田善啓氏とハンバット大学インキュベーションセンター長 Sung-Whan Park 氏が協定書に調印した。

両研究所は学術及び教育上の活性化を促進するために、研究会、国際的な産学連携成功事例の開発を行うことになった。調印の後「グローバル・ビジネス・フォーラム」が開催され、日本と韓国との提携についての発表、ディスカッションがあった。



甲南大学ビジネス・イノベーション研究所とハンバット大学インキュベーションセンターとの特別研究会の開催

開催日時： 2010年2月19日(金) 午後1時30分から午後5時まで

開催場所： 甲南大学 3号館7階 第2会議室

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所がこれまで行ってきました産官学の社会連携の成果を基盤にして、東アジアの研究機関との連携を進めていくために、韓国のハンバット大学のインキュベーションセンター(創業支援センター)との共同研究会が、2月19日に甲南大学で開催されました。両研究所が今後提携するために、テーマは「日本と韓国の産学連携の現状と課題」で行われました。ハ



ンバット大学から Eungkyu Kim 氏（ハンバット大学教授、Dean of Economics and Business 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所がこれまで行ってきました産官学の社会連携の成果を基盤にして、東アジアの研究機関との連携を進めていくために、韓国のハンバット大学のインキュベーションセンター（創業支援センター）との共同研究会が、2月19日に甲南大学で開催されました。両研究所が今後提携するために、テーマは「日本と韓国の産学連携の現状と課題」で行われました。

ハンバット大学から Eungkyu Kim 氏（ハンバット大学教授、Dean of Economics and Business College）から「ハンバット大学の Economics & Business College の活動」、Sung-Whan Park 氏から（ハンバット大学教授、インキュベーションセンター所長）「韓国におけるビジネスインキュベーション」、李健泳氏（新潟大学経済学部教授）、「新潟大学経済学部と東アジアとの交流」、中田善啓氏（甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 経営学部 教授）より「甲南大学ビジネス・イノベーション研究所の取り組み」の発表が行われました。ハンバット大学ビジネスインキュベーションセンターと甲南大学ビジネス・イノベーション研究所の活動について討議が行われ、相互理解を深めました。ハンバット大学ビジネスインキュベーションセンターと甲南大学ビジネス・イノベーション研究所とが学術交流を行うために、提携することが合意されました。

BI 研究会 2005～2009 年度

第 14 回研究会（2010 年 3 月 13 日開催）「商店街は、地域再生の拠点となりえるのか」

日 時 : 2010 年 3 月 13 日(土) 13:30-17:50

場 所 : 甲南大学 3 号館 7 階 第 1 会議室

2010 年 3 月 13 日(土)、甲南大学岡本キャンパスに於いて甲南大学ビジネス・イノベーション研究所主催の第 14 回研究会が開催された。当日は、標記テーマに基づき国（独立行政法人 中小企業基盤整備機構）や地方自治体（兵庫県と神戸市）、街づくりに深く関わる街づくりプランナーと、そして商店街組織や街づくりを研究する学術研究者による活発な討論が行われた。商店街研究の第一人者である石原武政氏（関西学院大学商学部 教授）による基調講演のあと、商店街支援を行う行政、街づくりプランナー、そして学術研究者から最新の事例報告があり、その後上記講演者全員によるディスカッションが行われた。

<研究会スケジュール>

司会進行 : 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 西村 順二 氏

13:30～13:35 挨拶 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 中田 善啓 氏

13:35～13:40 研究会趣旨説明

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員

経営学部教授 西村 順二 氏

13:40～14:40 講演『商店街からのまちづくり』 関西学院大学 商学部 教授 石原 武政 氏

14:50～15:05 事例報告 1

兵庫県産業労働部産業振興局 経営商業課 副課長（商業担当）兼 商業活性化係長 桂 隆 氏

15:05～15:20 事例報告 2

まちづくり株式会社コー・プラン まちづくりプランナー 吉川 健一郎 氏

15:20～15:35 事例報告 3

中小企業基盤整備機構近畿支部 経営支援部 まちづくり支援課長 長坂 泰之 氏

15:35～15:50 事例報告 4

流通科学大学 商学部 准教授 横山 斉理 氏

15:50～16:05 事例報告 5

財団法人神戸市産業振興財団 経営支援部商業支援課長 中多 英二 氏

16:15～17:45 全員によるディスカッション

モデレーター 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 西村 順二 氏

17:45～17:50 閉会の挨拶

第13回研究会（2010年2月27日開催）「提携形成のゲーム理論的分析」

日時：2010年2月27日(土) 14:00-17:30

場所：甲南大学9号館4階 第6会議室

本研究所の設立趣旨にあるように、地域経済、地域社会の活性化のためには企業、大学、官公庁など異なる組織による連携が必要である。協力し合うことが望ましいという考えは誰もが共有していると思われるが、それをどう実現するかについて意見の一致がみられることはまれである。これは個々の連携、協力に対するインセンティブが異なるためである。ゲーム理論はそうした必ずしも同一ではない利害関係を持った者が最適な判断をするにはどうしたら良いかを考える研究分野である。今回の研究会では、一般均衡理論からのアプローチを研究されている京都産業大学の加茂知幸氏、最新のゲーム理論に精通されている一橋大学の岡田章氏をお迎えして、提携、協力の実現に関する理論的な可能性を検討した。

<研究会スケジュール>

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 三上 和彦 氏

14:00~14:05 歓迎の辞 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 中田 善啓 氏

14:05~14:10 開会の辞 兼 司会

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員

経営学部 准教授 三上 和彦 氏

14:10~15:40 「Default and Risk Sharing in Security Markets」

京都産業大学 経済学部 准教授 加茂 知幸 氏

16:00~17:30 「Dynamic Group Formation in Repeated Prisoner's Dilemma」

一橋大学大学院 経済学研究科 教授 岡田 章 氏



第12回研究会（2009年10月30日開催）「日本企業の中国・アジアビジネス戦略」

日時：2009年10月30日(土) 15:00-17:30

場所：甲南大学ネットワークキャンパス東京

世界金融危機後、経済不況からもっとも早く回復に向かったのは中国・アジアである。日本企業は中国・アジアにおいては、「世界の工場」として位置付けているだけでなく、「世界の市場」としても位置付け、ビジネス戦略の練り直しを行っている。本研究会において、司会兼コーディネーターは甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員、経営学部教授杉田俊明氏が務め、製造業における代表的な企業であるパナソニック（海外企画グループ戦略企画チーム・チームリーダー）の杉浦直樹氏と、製造小売り企業における勝ち組の代表であるユニクロ（海外事業本部プロジェクトリーダー）の久保田勝美氏がそれぞれ自社の事例について講演を行った。簡潔明瞭、また、経営に多くの示唆を与える両氏の講演が好評であり、出席者一同が熱心に関連テーマについて討議を行なった。

<研究会スケジュール>

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 杉田 俊明 氏

15:00~15:05 歓迎の辞 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 中田 善啓 氏

15:05~15:10 開会の辞 兼 司会

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員

経営学部 教授 杉田 俊明 氏

15:10~16:00 「パナソニックの中国・アジアビジネス戦略と実務」

パナソニック 海外企画グループ戦略企画チーム

チームリーダー 杉浦 直樹 氏

16:10~17:00 「ユニクロの中国・アジアビジネス戦略と実務」

ユニクロ 海外事業本部 プロジェクトリーダー 久保田 勝美 氏

17:00~17:30 質疑応答

第11回研究会（2009年5月29日開催）「ファミリー企業とリスク」

日時：2009年5月29日(金) 17:00-19:00

場所：甲南大学ネットワークキャンパス東京

ファミリー企業は、専門経営者企業にはない様々な経営のメリットを有しています。一方で大株主でありかつ経営者であることから、専門経営者企業にはないさまざまなリスクも有しています。そこで今日の研究会ではそれらの課題と対応についてファミリービジネス学会、日本リスクマネジメント学会およびリスク・プロフェッショナル学会の3学会共同の研究会を通じて明らかにすることを目的にしています。

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 倉科 敏材 氏

- 17:00～17:05 歓迎の辞 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長
経営学部 教授 中田 善啓 氏
- 17:05～17:10 開会の辞
甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員
経営学部 教授 倉科 敏材 氏
- 17:10～18:00 「老舗ブランド過信による経営リスク」
千葉商科大学 藤江 俊彦 氏
- 18:00～18:50 「ファミリービジネスと事業承継問題」
関西大学 総合情報学部 教授 亀井 克之 氏
- 18:50～19:00 閉会の辞
専修大学 上田 和勇 氏

第10回研究会（2009年1月24日開催）「ベンチャー企業の革新性とその継続可能性」

日時：2009年1月24日(土) 13:30-17:30

場所：甲南大学2号館222講義室

ベンチャー企業の革新性とその継続可能性をテーマに、ベンチャーに関わる方たちのお話を聞く事で、ベンチャー企業のこれまでを振り返り、そして今後の可能性や課題について議論を行うものです。

<研究会スケジュール>

- 13:30～13:35 解題 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員
経営学部教授 西村 順二 氏
- 13:35～14:00 行政からの報告 「地域経済とインキュベーション」
財団法人神戸市産業振興財団 経営支援部
創業・新事業推進課長 藤原 善浩 氏
- 14:00～14:25 現場からの報告①
「デジタルネイティブが世界を変える～ネットワーク社会の新ビジネス秩序～」
株式会社アーカム 代表取締役社長 畠中 英秋 氏
- 14:25～14:50 現場からの報告②
「自社特許技術 スクリーンコードの事業展開」
株式会社アポロジャパン 取締役 岸上 郁子 氏
- 15:00～15:25 学識からの報告 「新時代の経営環境と起業家の人材育成」
追手門学院大学 教授
ベンチャービジネス研究所長 小西 一彦 氏
- 15:25～15:50 支援機関からの報告 「第二創業の革新と公的支援」

独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿支部
総括プロジェクトマネージャー 橋本 豊嗣 氏

16:00~17:25 ディスカッション

討論者：財団法人神戸市産業振興財団
経営支援部 創業・新事業推進課長 藤原 善浩 氏
株式会社アーカム 代表取締役社長 畠中 英秋 氏
株式会社アプロジャパン 取締役 岸上 郁子 氏
追手門学院大学 教授
ベンチャービジネス研究所長 小西 一彦 氏
独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿支部
総括プロジェクトマネージャー 橋本 豊嗣 氏
甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長
経営学部 教授 中田 善啓 氏
モデレーター：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員
経営学部 教授 西村 順二 氏

17:25~17:30 閉会の辞

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 経営学部 教授 中田 善啓 氏

第1回学内研究会 (2008年12月10日開催)

テーマ：「加工食品業界におけるサプライチェーン・マネジメントの展開に関する研究
ーネットワーク・オーガナイザーとしての卸売業者ー」
日時：2008年12月10日(土) 16:20-
場所：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所
発表者：玄野博行 (甲南大学社会科学部研究科博士課程)

第9回研究会 (2008年11月27日開催) 「離陸したインド経済ー台頭するアジアの巨象の行方を探るー」

日時：2008年11月27日(木) 17:00-19:30
場所：甲南大学「ネットワークキャンパス東京」

企業経営視点から見ると世界の注目市場は1960年代の日本、70年代の韓国・台湾・香港・シンガポールのNICs (新興工業国)、80年代のASEANと中国、90年代のインド、2000年初頭のBRICs (ブラジル、ロシア、インド、中国) と、アジアを中心に変遷してきました。対外開放経済をとった中国が短期間に急成長し、世界の生産・販売のシステムを構造的に変容させています。中国一国に集中した貿易・投資のリスク分散から“チャイナ・プラス・ワン”のコンセプトがあらわれ「プラス・ワン」にタイ、ベトナム、インドが取り上げられました。そして中国に続く期待の新興国として1991年より外資に対する開放政策をとったインドが世界中から脚光を浴びています。成長市場としてのインド、生産拠点 (輸出拠点) としてのインド、研究開発拠点としてのインドの可能性を探る上で今日までのインド経済の軌跡を振り返り将来を展望する発表がなされました。出席者は、トヨタ自動車、パナソニック、三菱東京UFJ銀行、日経新聞社、弁護士事務所、特許事務所、官・民のシンクタンクなどから40名強があり産官学ともこのテーマへの関心の深さを見せました。

<研究会スケジュール> PM4:30 開場・受付開始

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 経営学部 特任教授 安積敏政

17:00-17:05 開会の挨拶 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 中田 善啓氏

17:05-17:45 発表1：法政大学経済学部長 絵所 秀紀教授 「離陸したインド経済」

18:00-18:40 発表2：福岡大学商学部 石上 悦朗教授 「インドIT人材教育の現状と課題」

18:50-19:00 質疑応答

19:00 閉会

第8回研究会 ～ファミリービジネス学会・ファミリービジネス研究所設立報告会～テーマ：同族企業経営の進化を目指して

日時：2008年10月25日(土)14:00～17:00(13:00～受付開始)

場所：甲南大学

13:30～ 開会のあいさつ

13:40～ 学会設立趣旨、設立報告

倉科 敏材氏(甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員・経営学部教授)

14:00～ 基調講演1 「同族企業の強み」

加護野 忠男氏 (神戸大学大学院教授)

14:45～ 基調講演2 「家族関係の新潮流」

畠中宗一氏 (大阪市立大学大学院教授)

15:45～ パネルディスカッション

ファミリー企業経営者3名

コーディネーター 亀井 克之氏 (関西大学教授)

16:45～ 研究所設立趣旨、設立報告

PWC パートナー 大津 真氏 (前日本銀行沖縄支店長)

17:00 閉会

第7回研究会 (2008年1月23日開催)「地域別特性で解く中国ビジネス—華南、華東、華北など各地域の政策や商習慣、ヒトからみたビジネスの特性について」

日時：2008年1月23日(土) 14:30 - 17:30

場所：甲南大学9号館4階 第6会議室

中国ビジネスは日本にとってますます大きなプレゼンスを占めるようになってきています。国への直接投資を行い、日中間や対世界との貿易のさらなる拡大と同時に、ますます巨大化する中国市場への参入においても、その魅力が増しています。

ところで、中国は政治的には「一つ」ではあるが、その広さは日本の26倍もあるが故に、京や上海、そして広東など、それぞれの地域にはそれぞれの特性があります。中国ビジネスを成功に導くには、まずはそれらそれぞれの特性を正確に把握し、それらに見合った戦略と実務が求められます。

今回の研究会は、日本を代表する企業の方々、また、それぞれ複数の地域にて勤務や業務を担当されてきた方々を講師に招き、中国の各主要地域特性、とりわけ人的特徴、商習慣などを検討し、それぞれの地域に適合するビジネスモデルを検討するものです。

日本企業と中国各地域の企業との一層の経済連携を推し進めるために、また、中国ビジネスの一層の発展、あるいは中国に対する地域研究を深めるために、本研究会は多少なりでも貢献できればと思います。

<研究会スケジュール>

14:30 - 14:35 開会のご挨拶

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長 中田 善啓氏

14:35 - 14:40 全体提議

杉田 俊明氏 (甲南大学ビジネス・イノベーション兼任研究員、甲南大学経営学部教授)

14:40 - 15:30 講演 (50分)

「中国での駐在経験からみた中国ビジネスの地域別特性

石岡 徹氏 (伊藤忠商事株式会社 海外担当役員付審議役)

15:30 - 16:10 講演 (40分)

「現地法人の経営管理から見た中国ビジネスの地域別特性」

高橋 誠治氏（日華化学株式会社 経営企画室次長）

16：20 - 17：00 講演（40分）

「中国人管理職からみた中国ビジネスの地域別特性」

張 紹哲氏（松下電器産業株式会社 人材開発カンパニー参事・社内特別講師）

17：00 - 17：30 質疑応答・全体討論

司会・コーディネーター：杉田 俊明氏（甲南大学経営学部教授）

産官学連携研究会（2008年1月17日開催）「産官学連携に向けてー甲南大学ビジネス・イノベーション研究所への提言ー」

日時：2008年1月17日（木） 13：30-17：00

場所：甲南大学5号館1階 キャリアセンター講義室

産官学の連携、および今後の甲南大学ビジネス・イノベーション研究所の方向性甲南大学について、OB、OG関係者、甲南大学と包括的契約を結ぶ企業関係者から提言を受けました。発表後、甲南大学ビジネス・イノベーション研究所運営委員の研究者とのディスカッションを行いました。なお、この研究会の参加者は発表者と甲南大学ビジネス・イノベーション研究所運営委員の研究者です。

講演 13：30 - 15：25

甲南大学OB関係者

（株）エス・エル・シー 代表取締役 西田 玲氏

（株）ディーエスピーリサーチ 代表取締役 中西 伸浩氏

日本テクノロジーソリューション（株） 代表取締役 岡田 耕治氏

東邦邦レオ（株） 代表取締役 橘 敏夫氏

甲南大学と包括的契約を締結している企業関係者

尼崎信用金庫 業務部長 執行役員 藤澤 恒雄氏

池田銀行 大阪梅田営業部 ネットワーク推進部ニュービジネス推進室

調査役 酒井 眞氏

ディスカッション 15：25 - 17：00

司会：甲南大学フロンティア研究推進機構長

ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 甲南大学教授 長坂悦敬氏

参加者・講演者：

西田玲氏、中西伸浩氏、岡田耕治氏、橘俊夫氏、藤澤恒雄氏、酒井眞氏、

松葉貴義氏（尼崎信用金庫）、中田善啓氏、藤田昌之氏、安積敏政氏、長坂悦敬氏

第6回研究会（2007年12月8日開催）「海外遺伝資源を活用した産官学連携について」

日時：2007年12月8日（土） 13：00-16：00

場所：甲南大学3号館7階 第1会議室

<研究会スケジュール>

13：00-13：10 開会のご挨拶

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長 中田 善啓氏

13：10-14：00 講演（40分）

「遺伝資源へのアクセス・利益配分（ABS）の現状と課題」

マノジュ・L・シュレスタ氏（甲南大学経営学部教授）

14：10-15：00 講演（40分）

「生物多様性条約：遺伝資源をめぐる国際ルール」

安藤 勝彦氏

（（独）製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジー本部、生物遺伝資源開発部門長）

15：10-16：00 講演（40分）

「海外遺伝資源を活用した産学官連携について —九州大学の事例—」

深見 克哉氏（文部科学省産学官連携コーディネーター、九州大学特任教授）

コーディネーター：マノジュ・L・シュレスタ氏（甲南大学経営学部教授）

第5回研究会 「産業クラスターと地域活性化」

日 時：2007年7月21日（土） 12:45～16:35（12:45 開場）

場 所：甲南大学211 講義室（2号館1階）

<研究会スケジュール>

13:00～13:15 開会のご挨拶 中田 善啓氏（甲南大学教授・甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長）

13:15～14:15 「地域活性化における二つの潮流—まちづくり・むらおこし運動と産業クラスター政策」

藤田 昌久氏（甲南大学教授・独立行政法人経済産業研究所 所長）

14:25～15:25 「産業クラスター政策と京滋地域の製品開発型中小企業」

児玉 俊洋氏（京都大学経済研究所 教授）

15:35～16:35 「社会連携のアンケート調査の結果について—関西の中小企業の課題」

中田 善啓氏（甲南大学教授・甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長）

コーディネーター 中田 善啓氏（甲南大学教授・甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長）

司会 西村 順二氏（甲南大学教授・甲南大学経営学部長）

第4回研究会（2007年2月16日開催）「各種予測」

日 時：2007年2月16日（金） 13：30-17：00

場 所：甲南大学2号館1階 213会議室

SCM等において販売予測は不可欠ですが、一般に出されている時系列解析手法であるARモデル、ARMAモデル、ARIMAモデルなどをそのまま適用しても予測精度はあまりよくないことが多々見られます。トレンドの除去、季節変動の除去、各種予測手法の組み合わせ等で予測精度を高めることができます。また、そういった改良された手法は株価予測、景気予測等幅広く活用することができます。本研究会では、手法の改善、産業界データへの適用等について幅広く検討し、議論を深めました。

<研究会スケジュール>

(1) 13：30-13：35 開会のご挨拶

(2) 13：35-14：40 「時系列解析と予測」

大阪府立大学 経営情報システム研究所長

経済学部教授 竹安 数博 氏

(3) 14：40-15：45 「各種予測手法と予測の実際」

中部大学 経営情報学部 専任講師 山下 裕丈 氏

(4) 15：45-16：00 休憩

(5) 16：00-17：00 「指数平滑、ARモデル等による予測事例」

日本学術振興会 特別研究員 樋口 友紀 氏

第3回研究会 (2006年10月27日開催) 「ビジネス戦略革新—分析手法のビジネスデータへの適用—」

日時 : 2006年10月27日(土) 14:00-17:30

場所 : 甲南大学2号館1階 213講義室

<研究会スケジュール> 13:15開場

司会進行 : 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 客員特別研究員

大阪府立大学 経済学部 教授 石垣 智徳 氏

13:30-13:35 開会のご挨拶

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 経営学部教授 中田 善啓 氏

13:35-14:20 「企業データの活用技術とその応用—事例研究を中心に—」

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 客員特別研究員

大阪府立大学 経済学部 教授 石垣 智徳 氏

14:25-15:10 「POS データを活用した事例研究」

大阪府立大学大学院 小澤 佳奈 氏

15:25-16:10 「POS データを活用したバイズ統計分析—多店舗データの有効利用—」

大阪府立大学 経済学部 助教授 中山 雄司 氏

16:15-17:00 「テキストデータを活用した統計分析—地域ブランド創りの事例紹介—」

大阪府立大学 経済学部 教授

株式会社ギャガ・デジタルブレイン取締役 荒木 長照 氏

第2回研究会 (2006年2月24日開催) 「ITによる経営プロセス革新—モバイル技術のビジネスへの応用—」

日時 : 2006年2月24日(金)

場所 : 甲南大学2号館1階 211講義室

モバイルは昨今とみにコンテンツが充実し、また、ブロードバンド化により、よりビジネスへの応用の可能性が広まってきました。このモバイル技術がビジネスにいかに応用されるかについて議論しました。

- ・ 製造業 : 現場実績収集の他に設備保全への応用など
- ・ 小売流通業 : マーケティングツールなどの他に販売予測の組み込みなど
- ・ サービス業 : 予約などの他に仲間ネットへの拡大など
- ・ 公共分野 : 各種情報提供、施設予約、各種相談受け付けなど

の分野における応用の可能性を探りました。

<研究会スケジュール>

13:30-13:35 開会のご挨拶

13:35-14:20 「モバイル・マーケティング」

大阪府立大学 経済学部 教授

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 客員特別研究員 竹安 数博 氏

14:25-15:10 「モバイル・ニュービジネス (サーベイ)」

大阪府立大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 樋口 友紀 氏

15:25-16:10 「モバイルを用いた食品トレーサビリティシステム」

阪急ホールディングス株式会社

グループコンプライアンス統括部長 石井 康夫 氏

16:15-17:00 「企業におけるインターネット活用成功例とその秘訣—スポーツ業界におけるB to Bの例」

ゼット株式会社 システム部 部長 瀬山 正 氏

(早稲田大学アジア I T 戦略研究所 客員研究員)

第1回研究会（2005年11月開催）「コミュニティ・ビジネスの現状と新たなる展開—現場からの報告—」

21世紀における地域経済の中心的役割を果たす組織体の一つとしてコミュニティ・ビジネス主体への期待は大きい。それは、成熟化社会における新たなるビジネスチャンスの発掘などの我々をとりまく経済状況の変化、高齢化社会への突入や行政と民間のコラボレーションなどの社会的価値感の変化、さらには企業の社会的責任などに見られる社会的存在としての企業組織の在り方の変化などにより、従来の企業組織の枠組みでは対応できない社会状況が生まれてきたためです。そして、このような新しい社会枠組み変化への動きは一人零細・小規模企業組織だけの課題ではなく、大規模企業にとっても大きな課題となってきています。

この研究会はこれらの新たなる価値基準の下で、大きな役割を期待されているコミュニティ・ビジネスの現状と問題点を考え、これからの更なる発展の糸口を探ることを目的としました。

2005年11月19日（土）14:00-17:30

甲南大学 第6会議室

基調「進化するコミュニティ・ビジネス:社会的企業へ」

講演者兵庫県立大学教授・同大学経済研究所所長 加藤 恵正 氏

2. パネル・ディスカッション「コミュニティ・ビジネスの諸課題と展望」

パネリスト

特定非営利活動法人マンション管理組合サポートセンター理事長 岩崎 裕司氏

大阪府商工労働部商工労働総務課政策グループ統括主査 池田 純子氏

兵庫県立大学教授・同大学経済研究所所長 加藤 恵正 氏

コーディネーター甲南大学経営学部教授 西村順二 氏

